

計画的、体系的に指導しましょう

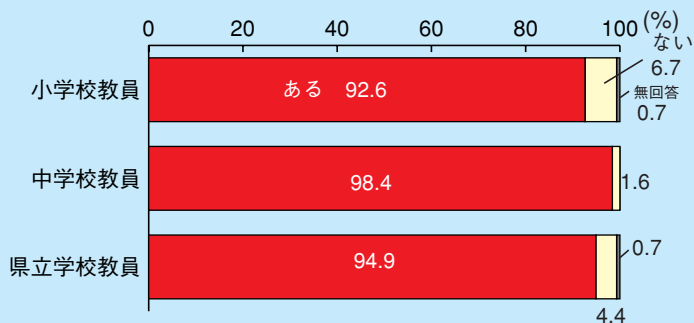


図10 インターネット(携帯でのメールを含む) 利用で子どもに悪影響をおよぼすと感じたことはありますか。

(小学校教員：n=270 中学校教員：n=248、県立学校教員：n=274)

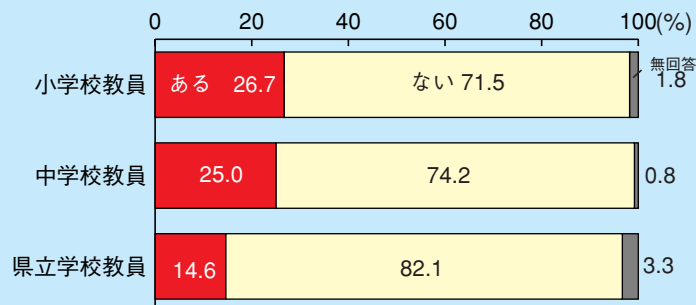


図11 インターネットや携帯電話の使用についての指導を計画的に行っていますか。

(小学校教員：n=270 中学校教員：n=248、県立学校教員：n=274)

子どもがインターネットや携帯電話を利用することで、悪影響を及ぼすと実感している教員は9割を超えています(図10)。実際に、インターネットに関係した事件事故が低年齢化しています。また、心の発達に与える悪影響も心配されています。

小学生のうちからインターネットを利用している子どもが多いことから、安全な使い方やルール・マナーの指導は小学生の時から行うことが重要です。また、中学校・高校と進むにつれて、生徒が自律的に使えるように指導することが求められます。

インターネットや携帯電話の利用についての指導を計画的に行っているという教員は、2割程度で、まだまだ十分な指導が行われているとはいえません(図11)。また、指導が難しいと感じる教員も多く、その理由としては、「指導時間がとれない」、「指導資料がない」などが多くあげられました。

情報活用能力の育成と情報モラルの指導は、小・中・高とも必須の指導内容と捉え、指導計画に体系的に位置付け、確実に指導するようにしてください。

トラブルはどの学校でも起こりうるととらえ、適切に対応しましょう

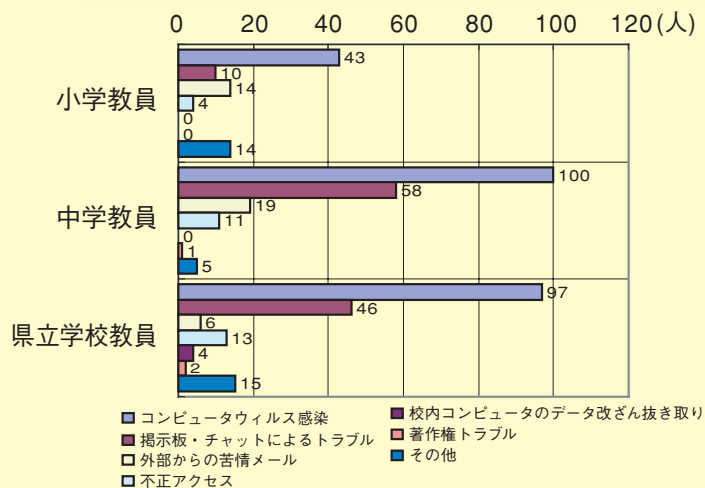


図12 インターネットに関するどんなトラブルがありましたか(複数回答)。

(小学校教員：n=270 中学校教員：n=248、県立学校教員：n=274)

学校で発生しているトラブルとしては、「ウイルス感染」、「掲示板やチャットによるトラブル」が多くなっています。また、「外部からの苦情メール」もみられました。何らかのトラブルがあったと回答した教員は全体の半数以上にのぼっています(図12)。

学校でのインターネットや携帯電話に関係したトラブルは、どの学校でも起こりうるととらえる必要があります。

トラブルを未然に防ぐため、ネットワークシステムの管理運用面をきちんとするとともに、教員一人一人のセキュリティ意識と情報教育に関する指導力を高めていきましょう。

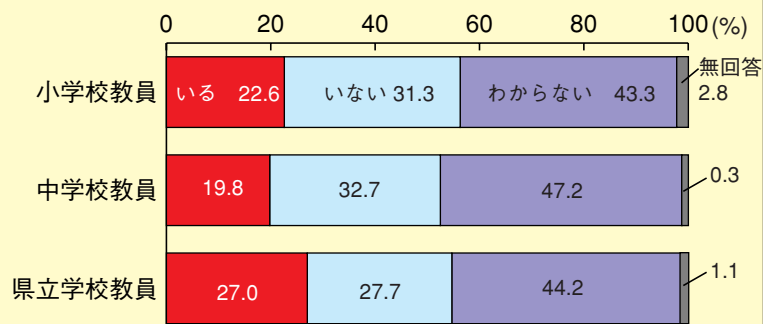


図13 インターネットに関するトラブルや学校外からの苦情メールに対処できる体制がとられていますか。

(小学校教員：n=270 中学校教員：n=248、県立学校教員：n=274)

インターネットに関するトラブルや苦情メールに対処する体制が、「取られていない」、「わからない」と回答した教員が多く、まだまだトラブルに対応する体制が十分でない学校が多いといえます(図13)。

全国的に学校における事件事故が頻発しており、内容も多様化しています。

すべての教員がトラブルが起こったときに速やかに、臨機応変に対応できるように、学校としての対応手順を整えるようにしましょう。また、事例研究を通して具体的に対応する力を組織として高めていきましょう。